

【新規】小学生スポーツテスト(小学3・4年生体力テスト)

部長復活要求額 : 23,395千円 (一般財源: 23,395千円)
 財務部長内示額 : 0千円 (一般財源: 0千円)
 知事復活要求額 : 23,401千円 (一般財源: 23,401千円)

【目的】個人及び学校単位での体力測定・分析から的確かつ継続的なPDCAサイクルを確立し体力向上を図る。
 ～府独自に小学3・4年生に悉皆で体力テストを実施することで、早期に課題を把握し、対策を講じる～

現状と課題

① スポーツ庁の調査(5年生)では、結果を踏まえた対策等の時間が限られる

・4～7月に実施し、12～1月に結果返却されるため、実質6年生の1年間のみ

② 子どもたちの運動に対する意識

・「運動やスポーツが好き・やや好き」府88.80%(全国90.45%) : 46位
 ・「体育の授業は楽しい・やや楽しい」府91.15%(全国93.00%) : 最下位
 (R1「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」より)

(参考) R1全国体力調査における体力合計点 [H30]
 小5男子 : 45位[46位] 小5女子 : 43位[44位] 中2男子 : 41位[41位] 中2女子 : 42位[42位]

取組み

① 早期に分析し、学校・児童等に結果をフィードバック 授業改善の促進

・体育の授業用テキスト『簡単プログラム』『体力向上実践事例集』(府作成)により
 授業改善を促進 (把握した子どもの課題に即して授業を実施)

② 中学年における課題把握

・神経回路の発達が著しい時期に、課題把握・改善につなげ、苦手意識の克服へ

体力テスト優秀校(者)表彰

・体力向上に積極的に取組み、顕著な成果を上げた学校(及び児童)を表彰

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3・4年生	目標設定 (P)	取組み・体力調査 (D)	結果返却・課題分析 (C)	授業改善 (A) 新たな目標設定 (P) → 取組み (D)								

- 早い時期に分析結果を返却
- 分析結果に基づくアクションプラン作成
- 学校・学年・学級・個に応じた指導を展開

① 府が実施する理由

- 正確な状況把握により、すべての市町村への的確な指導・助言が可能
- 府全体の体力向上の実現 (府全体の底上げ) ⇒ **全国水準へ**

② 業者委託する理由

- 教員が子どもの課題を把握し、改善するための多面的で詳細な情報を得ることができる
- **子どもの個人カルテ**
 - 個々の経年比較や全国・府内との比較、自分の強み・弱みを把握
 - 運動と生活習慣のクロス分析
- 速やかかつ極力労働時間を抑え、働き方改革にもつなげた実施へ

府と市町村の役割分担

大阪府

目標設定

- 全国水準をめざす
→市町村ごとの課題を正確に把握

水準設定

- 市町村が自らの立ち位置を知るため
→府内市町村でバラつきが生じないよう、標準的な指標を示し統一的に実施

市町村

ポジション等の把握

- 府内における市町村・学校のポジションや課題を把握

取組みの実施

- 所管する学校に対し課題に応じた指導・助言及び改善のための取組みを実施

※小5以外の委託による体力調査実施市町村は2市のみ
 (R1全国体力調査の府内状況 A市 : 6位 B市 : 7位)

先行事例 (東京都)

- H23～ 都独自の悉皆調査を実施(全学年)

全国順位	H22	H25	H28	R1	委託
東京都	34	22	17	22	○
神奈川県	45	45	45	46	×
愛知県	37	43	46	47	×
大阪府	47	46	47	44	×

- 学校ごと学級ごとで目標設定し取組み展開
- 個人カルテをフィードバック、表彰
⇒ 個々に応じたきめ細やかな指導が可能

期待できる効果

系統的な指導による
 授業の工夫・改善が促進!

子どもたちの運動に対する
 苦手意識の克服!

自主的に運動する
 子どもが増加!

子どもの体力向上!